

～状況の中で～

単元名 「故郷」

教科書出版社名（光村図書）

○ 中学校（3）年 教科等（国語）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

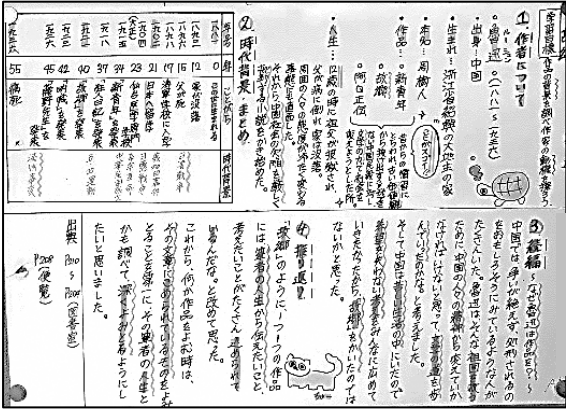
- (教科等でつけたい力)
- ・作品が書かれた時代背景や作者について調べ、作者が作品に込めた思いを読み取る力。
- (学校図書館等の活用でつけたい力)
- ・作品について、適切な資料を見つけてまとめる力。
 - ・目次や索引を使って、関連事項を調べる力。

○ 学校図書館等活用のポイント

- ・適切な資料をいくつか見つけ、資料を関連付けて問いの答えを導き出せるようにする。

○ 学習の展開（全5時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次	<ul style="list-style-type: none"> ・「故郷」について、物語の場面ごとに読み取りを行う。 ・作品の主題を読み取る。
第2次（☆）	<ul style="list-style-type: none"> ・「作者はなぜこの作品を書いたのか」を考えるため、資料を探す。 ・見つけた資料は、奥付や必要なページをタブレットに保存する。 ・タブレットに保存した資料から、作者の情報と時代背景を調べる。 ・分かったことを基に、作者がこの作品を書いたねらいを推察する。 ・レポートにまとめる。
第3次	<ul style="list-style-type: none"> ・作品と作者のつながりに気づき、振り返りをする。



(本時3 / 5時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
「故郷」が書かれた時代背景を調べて、作者が本作品に込めた思いを考える。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
10	1. 「故郷」の主題について、振り返り、課題を提示する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">作者は、なぜこの作品を書いたのか</div>	
30	2. 作者の情報と時代背景を調べる。 ・見つけた資料はタブレットに保存する。 ・そこから分かったことを基に、作者がこの作品を書いたねらいを推察する。	・問題提起・本論(根拠)・結論の流れを確認する。 ・二種類以上の適切な資料を見つけ、資料を関連させて考える。 ・出典を明らかにする。 ・色使いや図表の工夫などをする。
10	3. 作品と作者のつながりに気づき、振り返りをする。	

図書館活用
ポイント